

## 令和5年度農作業事故ゼロ運動推進研修会開催要領

### 1 目的

北海道では、農業の規模拡大に伴いトラクタや作業機の大型化が積極的に推進されてきましたが、農業機械の大型化は、労働力の軽減と効率的な作業を実現している一方で、数多くの農作業中の死亡・負傷事故を発生させる要因にもなっています。

北海道における令和4年度の農作業事故総件数は2,145件で、このうち死亡事故が前年から7件減少して9件、負傷事故は9件減少して2,136件という発生状況になっており、死亡事故の減少は目立つものの総件数は、ほぼ横ばい状況で推移して大きな変化はありません（前年対比99.3%）。

しかし、農業就業人口が減少する中で、むしろ事故発生率は高くなっており、年齢層が高くなるほど多発化傾向になっております。

また、他産業の労働災害による死傷者発生率と比べても非常に高い水準にあります。

農作業事故により発生する労働力の負担や経営的な損失は非常に深刻であり、個々の農業経営はもとより地域農業・地域社会の持続性や振興を図る上にも影響するので、いかに農作業事故防止へ取り組むかが重要な課題となっております。

本研修会は、このような状況を踏まえ、農作業事故や農業機械が絡む交通事故を未然に防止する観点から、農業者、JA、市町村、普及センター及び試験場等の職員の農作業安全に対する意識の向上や、地域における安全運動の推進を図ることを目的として開催します。

2 主催 北海道農作業安全運動推進本部、北海道

3 日時 令和6年2月21日（水）午後1時30分【受付開始1：00】

4 場所 北海道自治労会館5階大ホール  
札幌市北区北6条西7丁目5-3（TEL：011-747-1457）

## 5 講演

時 間	内 容
13 : 00 ~ 13 : 30	受 付
13 : 30 ~ 13 : 35 5分	開会あいさつ
13 : 35 ~ 13 : 45 10分	<事務局報告:北海道における農作業事故の発生状況について>
13 : 45 ~ 14 : 25 40分	講 演 (1) 農業・畜産業における労働安全衛生について 厚生労働省 北海道労働局労働基準部安全課 安全専門官 細川 哲義 氏
14 : 25 ~ 14 : 35 10分	~ 休 憩 ~
14 : 35 ~ 15 : 15 40分	(2) 現場を変える「クリエイティブな仕事」としての安全対策 (国研)農研機構 農業機械研究部門 システム安全工学研究領域 予防安全システムグループ グループ長 積 栄 氏
15 : 15 ~ 15 : 45 30分	(3) 農家目線の農作業安全対策 幕別町 農業者 箕浦 邦雄 氏
15 : 45 ~ 15 : 55 10分	質 疑
15 : 55 ~ 16 : 00 5分	閉会あいさつ

(注)講演者、演題等について当日変更の際はご容赦下さい。

- 6 参集範囲 農業者、JA、市町村、普及センター、試験場等及び各地区本部（総合振興局・振興局・各連合会・農業公社・生産連等）、北海道農作業安全運動推進本部構成会員等

7 定 員 130名程度

## 8 参加申込

- (1) 受付期日 令和6年1月9日から令和6年2月7日まで  
(2) 申込書 別紙1のとおり（必要事項を記入してメール又はFAXで提出）  
(3) 提出先 北海道農作業安全運動推進本部  
〒060-0005  
札幌市中央区北5条西6丁目1-23  
公益財団法人北海道農業公社内  
TEL 011-232-8407  
FAX 011-232-8407  
Email [agr-anzen@vega.ocn.ne.jp](mailto:agr-anzen@vega.ocn.ne.jp)

## 参加申込書

令和 年 月 日

北海道農作業安全運動推進本部 行  
FAX 011-232-8407

Email : [agr-anzen@vega.ocn.ne.jp](mailto:agr-anzen@vega.ocn.ne.jp)

(所属団体名) \_\_\_\_\_

令和5年度農作業事故ゼロ運動推進研修会について、下記のとおり参加します。

## 記

## 1 参加者

役 職 名	氏 名

(参加者が書ききれない場合、任意の別紙で構いません。)

※ご記入後は、FAX又はメールにて回報をお願いいたします。  
(令和6年1月9日から令和6年2月7日まで)